

# 2026年3月期第3四半期 決算補足資料



- 2026年1月30日
- 東証スタンダード(4539)

サマリー	1-2
損益の概況	3-4
医療用医薬品の状況	5-6
ジェネリック医薬品 発売年度別売上	7
貸借対照表	8
設備投資額・減価償却費 ・1株当たり情報	9
各種指標推移	10

# サマリー①

## ■売上高

＜連結売上高： 24,257百万円 前年同期比△0.2%、対当初通期予想69.3%＞

- ・ジェネリック医薬品および臨床検査薬の引き続きの伸長により、薬価中間年改定の影響を吸収したうえで前年同期比では横ばいを確保した一方、対通期予想では遅れが生じている。

①医療用医薬品： 19,109百万円 前年同期比+0.1%、対当初通期予想72.1%

- |       |   |
|-------|---|
| 増収要因  | ・ ジェネリック医薬品の拡販注力品の堅調な伸びと近年発売品の寄与<br>・ 長期収載品の選定療養制度に伴うジェネリック医薬品への切り替え波及効果                  |
| 減収要因  | ・ 2025年4月に実施された薬価中間年改定（約△4%）の影響<br>・ 当社グループにおける一部品目の取り扱い終了<br>・ 主力品・新薬については、ジェネリック医薬品への置換 |
| 対通期予想 | ・ 一部品目において薬価中間年改定に伴う影響が想定以上に発生<br>・ 主力品・新薬において計画していた外部取引が第4四半期以降に繰り延べ                     |

②臨床検査薬： 3,523百万円 前年同期比+5.5%、対当初通期予想60.3%

- ・ ドロップスクリーンの国内累計設置台数は当第2四半期で1,600台を超え、その高い製品力を背景に医療機関への普及が引き続き堅調に進んでいる。
- ・ 一方で、当初予想時から花粉シーズンを迎える第4四半期に高いウエイトを見込んでいるものの、インフルエンザの早期流行による検査数減少等が影響し、対通期予想では若干遅れが生じている。

# サマリー②

## ■利益

＜連結営業利益： 207百万円 前年同期比△41.7%、対通期予想69.2%＞

- ・ 薬価中間年改定の影響等による原価率上昇により、対前年同期比減益となった。

＜連結四半期純利益： 286百万円 前年同期比+709.5%、対通期予想191.3%＞

- ・ 一部の政策保有株式の売却益を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は286百万円となった。

## ■通期業績予想の修正について

- ・ 医薬品事業における前述の要因に加え、その他の事業における一部受注案件の延期等から、当第3四半期において通期予想に対する進捗に遅れが生じていることを鑑み、連結売上高の通期業績予想を33,500百万円へと修正いたしました。
- ・ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、研究開発費の一部の支出が来期にずれ込む見通しとなったことなど当期費用の減少が見込まれること、また為替相場等の不確実な要因もあることから、前回発表予想から変更はありません。

## ■トピックス

- ・ 12月にジェネリック医薬品1成分3品目を発売。
- ・ NC-2800のうつ病患者を対象としたフェーズⅡa試験の症例登録が1月より開始された。
- ・ ドロップスクリーンは引き続き2025年度の累計設置台数目標2,000台に向けて拡販に注力。

# 損益の概況(対前年同期)

(百万円)

	2025年3月期		2026年3月期			
	第3四半期	構成比	第3四半期	構成比	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	24,307	100.0%	24,257	100.0%	△ 49	△ 0.2%
医薬品事業	23,398	96.3%	23,409	96.5%	+11	+0.0%
内、医療用医薬品 ※1	19,091	78.5%	19,109	78.8%	+17	+0.1%
内、臨床検査薬 ※1	3,339	13.7%	3,523	14.5%	+184	+5.5%
その他	909	3.7%	848	3.5%	△ 60	△ 6.7%
売上原価	17,819	73.3%	17,998	74.2%	+179	+1.0%
販売管理費	6,132	25.2%	6,051	24.9%	△ 80	△ 1.3%
内、研究開発費	1,771	7.3%	1,531	6.3%	△ 240	△ 13.6%
営業利益	355	1.5%	207	0.9%	△ 148	△ 41.7%
公的資金繰り戻し後営業利益 ※2	674	2.8%	303	1.2%	△ 371	△ 55.0%
経常利益	349	1.4%	210	0.9%	△ 139	△ 39.8%
親会社株主に帰属する純利益	35	0.1%	286	1.2%	+251	+709.5%

※1 決算短信内セグメント情報の売上高から、医療用医薬品は受託売上等を減算、臨床検査薬はその他の収益を加算しています。

※2 公的資金の支援を得て行われるNC-2800の研究開発費を営業利益に繰り戻したものです。

# 損益の概況(対通期予想)

(百万円)

	2025年3月期		2026年3月期						
	通期	構成比	第3四半期	構成比	期初予想	進捗率	修正予想	差	進捗率
売上高	32,570	100.0%	24,257	100.0%	35,000	69.3%	33,500	△ 1,500	72.4%
医薬品事業	31,386	96.4%	23,409	96.5%	—	—	—	—	—
内、医療用医薬品 <sup>※1</sup>	25,271	77.6%	19,109	78.8%	26,490	72.1%	25,490	△ 1,000	75.0%
内、臨床検査薬 <sup>※1</sup>	4,883	15.0%	3,523	14.5%	5,840	60.3%	5,490	△ 350	64.2%
その他	1,184	3.6%	848	3.5%	—	—	—	—	—
売上原価	23,824	73.1%	17,998	74.2%	—	—	—	—	—
販売管理費	8,139	25.0%	6,051	24.9%	—	—	—	—	—
内、研究開発費	2,292	7.0%	1,531	6.3%	2,750	55.7%	2,350	△ 400	65.2%
営業利益	606	1.9%	207	0.9%	300	69.2%	300	0	69.2%
公的資金繰り戻し後 営業利益 <sup>※2</sup>	939	2.9%	303	1.2%	450	67.3%	450	0	67.3%
経常利益	443	1.4%	210	0.9%	100	210.2%	100	0	210.2%
親会社株主に帰属する 純利益	294	0.9%	286	1.2%	150	191.3%	150	0	191.3%

※1 決算短信内セグメント情報の売上高から、医療用医薬品は受託売上等を減算、臨床検査薬はその他の収益を加算しています。

※2 公的資金の支援を得て行われるNC-2800の研究開発費を営業利益に繰り戻したものです。

# 医療用医薬品の状況(対前年同期)

(百万円)

	2025年3月期		2026年3月期			
	第3四半期	構成比	第3四半期	構成比	前年同期比	
					増減額	増減率
医療用医薬品(①+②)※	19,091	100.0%	19,109	100.0%	+17	+0.1%
①ジェネリック医薬品	18,246	95.6%	18,460	96.6%	+214	+1.2%
自社販売	17,951	—	18,155	—	+203	+1.1%
導出・輸出	294	—	305	—	+10	+3.6%
②主力品・新薬	845	4.4%	648	3.4%	△ 197	△ 23.3%
ウラリット	272	—	201	—	△ 71	△ 26.0%
その他	572	—	446	—	△ 126	△ 22.0%
ジェネリック医薬品事業(①+③)	18,895	—	18,974	—	+78	+0.4%
③ジェネリック医薬品受託	649	—	513	—	△ 135	△ 20.9%

※ 決算短信内セグメント情報の医療用医薬品売上高から、受託売上等を減算しています。

# 医療用医薬品の状況（対通期予想）

（百万円）

	2025年3月期		2026年3月期						
	通期	構成比	第3四半期	構成比	期初予想	進捗率	修正予想	差	進捗率
医療用医薬品（①+②）※	25,271	100.0%	19,109	100.0%	26,490	72.1%	25,490	△ 1,000	75.0%
①ジェネリック医薬品	23,968	94.8%	18,460	96.6%	24,680	74.8%	24,180	△ 500	76.3%
自社販売	23,589	—	18,155	—	24,360	74.5%	23,860	△ 500	76.1%
導出・輸出	378	—	305	—	320	95.5%	320	0	95.5%
②主力品・新薬	1,303	5.2%	648	3.4%	1,810	35.8%	1,310	△ 500	49.5%
ウラリット	349	—	201	—	310	65.1%	310	0	65.1%
その他	953	—	446	—	1,500	29.8%	1,000	△ 500	44.7%
ジェネリック医薬品事業 （①+③）	24,784	—	18,974	—	25,500	74.4%	25,000	△ 500	75.9%
③ジェネリック医薬品受託	816	—	513	—	820	62.6%	820	0	62.6%

※ 決算短信内セグメント情報の医療用医薬品売上高から、受託売上等を減算しています。



# ジェネリック医薬品 発売年度別売上

(百万円)

	2025年3月期		2026年3月期			主な発売品目
	第3四半期	構成比	第3四半期	構成比	増減率	
2022年3月期以前	17,224	94.4%	16,876	91.4%	△ 2.0%	
2023年3月期	771	4.2%	910	4.9%	+18.0%	・フェブキソスタット ・エソメプラゾール
2024年3月期	159	0.9%	142	0.8%	△ 10.6%	・アジルサルタン
2025年3月期	90	0.5%	210	1.1%	+132.6%	・ゾニサミド ・リバーロキサバン
2026年3月期	－	－	320	1.7%	－	・グリメピリド「NC」 ・酢酸亜鉛 ・ラコサミド
合計	18,246	100.0%	18,460	100.0%	+1.2%	



# 貸借対照表

(百万円)

項目	2025年3月期	2026年3月期				
	3月末	12月末	増減額	主な増減項目と理由		
流動資産	30,066	32,455	+2,389	棚卸資産	+2,719	季節性製品の確保による影響
				売掛債権	△ 253	前期4Q増収の資金化
固定資産	19,785	19,643	△ 141	建物及び構築物	△ 401	つくば工場3号棟2階の償却などによるもの
資産合計	49,851	52,099	+2,247			
流動負債	12,261	14,237	+1,975	仕入債務	+1,421	季節性製品の確保による影響
固定負債	18,422	18,609	+186			
負債合計	30,684	32,846	+2,162	短期・長期借入金	△ 253	既存設備資金の借入金の返済
純資産合計	19,167	19,252	+85			
負債純資産合計	49,851	52,099	+2,247			

# 設備投資額・減価償却費・1株当たり情報

(百万円)

	2025年3月期		2026年3月期			
	第3四半期	通期	第3四半期	増減率	通期予想	進捗率
設備投資額	2,641	3,003	599	△ 77.3%	1,420	42.3%
減価償却費	1,015	1,377	1,140	+12.3%	1,690	67.5%

(円)

	2025年3月期		2026年3月期			
	第3四半期	通期	第3四半期	前年同期増減	期初予想	修正予想
1株当たり純利益	9.82	81.72	79.48	+69.66	41.57	41.51
	12月末	3月末	12月末	前年同期増減	期初予想	修正予想
1株当たり純資産	5,120.29	5,312.46	5,309.71	+189.42	—	—
1株当たり配当金	—	50.00	—	—	50.00	50.00
(参考)連結配当性向	—	61.2%	—	—	120.3%	120.5%

# 各種指標推移

	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末	2025年12月末
売上高売上原価率	74.1%	74.8%	73.1%	74.2%
売上高販管費率	26.7%	26.8%	25.0%	24.9%
売上高営業利益率	–	–	1.9%	0.9%
売上高研究開発費率	7.7%	7.6%	7.0%	6.3%
EBITDA (百万円)	1,682	1,391	2,018	1,520
流動比率(倍)	2.26x	2.31x	2.45x	2.28x
D/Eレシオ	81.0%	90.5%	87.3%	85.6%
自己資本比率	38.1%	37.3%	38.4%	37.0%
自己資本利益率(ROE)	1.8%	–	1.6%	–
売上高純利益率	1.1%	–	0.9%	1.2%
総資産回転率	64.4%	62.7%	65.5%	–
財務レバレッジ	264.7%	265.8%	259.3%	264.8%
配当性向	53.2%	–	61.2%	–

本資料に関するお問い合わせ先  
日本ケミファ株式会社 経営企画部(広報チーム)  
Tel 03-3863-1211 E-mail [ir@chemiphar.co.jp](mailto:ir@chemiphar.co.jp)

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。